

### 「第19回 FC EXPO 水素・燃料電池展」Honda 出展概要

Honda は、2023年3月15日（水）から3月17日（金）まで東京ビッグサイトで開催される「第19回 FC EXPO 水素・燃料電池展」に出展します。

Honda は、2050年にHondaの関わる全ての製品と企業活動を通じて、カーボンニュートラル実現を目指しており、製品だけでなく、企業活動を含めたライフサイクルでの環境負荷ゼロの実現に向けて、「カーボンニュートラル」「クリーンエネルギー」「リソースサーキュレーション」の3つを柱に取り組んでいます。その中で水素を、電気とともに有望なエネルギーキャリアとして位置づけています。

今回のFC EXPOでは、コア技術であり2020年代半ばに社外への販売開始を予定しているHonda燃料電池モジュールのプロトタイプを展示します。また、その主な適用先として、自社の燃料電池自動車（FCEV）に商用車、定置電源、建設機械を加えた4つのコアドメインでの活用を提案します。



Honda ブースイメージ

## 【主な出展内容】

### ■ Honda 燃料電池モジュール プロトタイプ

GM と共同開発している次世代燃料電池をベースとした、最大出力 80kW を有する外販用モジュールです。燃料電池自動車「CLARITY FUEL CELL (クラリティ フューエル セル)」<2019 年モデル> に搭載していた燃料電池システムに対して、コストを 3 分の 1、耐久性を 2 倍に向上させるとともに、耐低温性も大幅に向上させています。



Honda 燃料電池モジュール プロトタイプ

### ■ 定置電源 設置イメージモデル (1/24 スケール)

Honda は、米国現地法人アメリカン・ホンダモーターの敷地内に、「CLARITY FUEL CELL」の燃料電池システムを再利用した約 500kW の定置電源を設置し、今月よりデータセンター用の非常用電源として実証運用を開始するなど、クリーンで静かな非常用電源から、発電領域における燃料電池システムの適用の提案を進めています。FC EXPO では、その定置電源の設置イメージとして、3 メガワット規模の定置電源を模したモデル(1/24 スケール) を展示します。

### ■ 燃料電池大型トラックの取り組み

いすゞ自動車との共同研究による燃料電池大型トラックのモニター車がナンバーを取得し、公道での実証実験を 2023 年度中に開始予定です。その共同研究の進捗状況を映像で紹介します。



## 【「第 19 回 FC EXPO 水素・燃料電池展」開催概要】

主催者：RX Japan 株式会社

開催日程：2023 年 3 月 15 日 (水) ~17 日 (金)

会場：東京ビッグサイト 東展示棟

FC EXPO 公式ウェブサイト URL：<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/fc.html>